

おがぴ〜通信

おがさわら耳鼻咽喉科クリニック VOL.8



今回は
小児の急性中耳炎について
です

2016年4月15日発行

*急性中耳炎とは、どんな病気でしょうか？

鼓膜の奥の中耳という空洞に急に感染や炎症がおこったり、膿や貯留液がたまったりする病気です。

*原因は何でしょうか？

風邪などの気道ウィルス感染により、気道粘膜のバリア機能が破綻し、鼻咽腔（鼻とのどの間の部分）の細菌が耳管（図1）へ侵入することにより急性中耳炎は発症します。

*どんな人がかかりやすいの？

急性中耳炎は耳管機能や免疫力が未熟な乳幼児に発症しやすく、特に2歳未満で集団保育を受ける小児は、何度も繰り返しやすいです。

*発症しやすい時期は？

急性中耳炎は、秋から冬にかけて風邪が流行る時期に多くなります。また、4～5月の新学期にも、集団保育施設入園に伴う感染機会の増加により急性中耳炎が流行ると考えられます。

*症状は？

耳痛や発熱、耳だれがよく知られています。夜泣きや不機嫌、“しきりに耳を触る”ことは耳痛の症状と考えられますので注意が必要です。

*どんな治療をするのでしょうか？

鼻汁の掃除で風邪症状を改善します。抗生剤などの薬剤の内服、症状によっては鼓膜切開を行うこともあります。

*その他

症状が良くなったように見えても、鼓膜の状態は良くなっていないことも多いので、必ずもう一度診察を受けることをお勧めします。

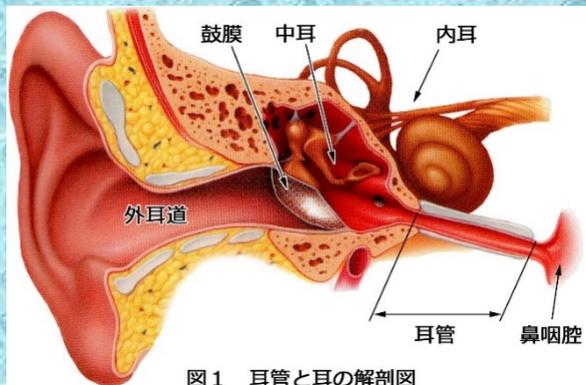


図1 耳管と耳の解剖図

ワンポイント

～ 鼻汁の掃除 ～

小さなお子さんは鼻かみに慣れていません。保護者の方が鼻吸引器で鼻内をきれいにしてあげましょう。保護者の口で吸い取るホース式のタイプがおすすめです。

回数はできるだけたくさん行いましょう。口で吸引する限り、**やや強めに吸っても耳への心配はありません。**

鼻吸引器は、ドラッグストアや赤ちゃん用品店で購入できます。ご不明な点は、スタッフまでお問い合わせ下さい。

～患者さんへご協力とお願い～

診察の受付した後に外出される方は、受付担当者に必ず声をお掛け下さい。

4月以降、待ち時間が長くなる
ことが予想されます。ご迷惑を
お掛けしますがご了承下さい。



医療法人社団 **おがさわら**
耳鼻咽喉科クリニック

札幌市北区北24条西14丁目3番8号
北24条通メディカルプレイス3階

(TEL) 011-747-3387

(URL) <http://www.oga3387.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～ 12:00						
14:00～ 18:00				休診		休診